

第1期川北町版総合戦略の総括と第2期川北町版総合戦略等の検証について（会議内容資料）

1. 第1期及び第2期川北町版総合戦略等を策定した経緯

- ◎人口減少の克服などを課題として、国において平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、翌年には「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（国の総合戦略）を閣議決定しました。これに伴い、地域の実情に合わせた「地方版総合戦略」の策定が努力義務となり、全国全ての自治体が戦略策定に取り掛かりました。
- ◎当町では、町民の意見を幅広く収集するため、アンケート調査（500人を無作為で抽出）を実施し、町民や産業界、教育関係などの各分野の方々に構成された有識者会議を開催し、目標人口や重要業績評価指標であるKPIなどを掲げた「川北町版総合戦略」及び「川北町人口ビジョン」を策定しました。

重要業績評価指標（KPI）とは

Key Performance Indicator の略称

施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標をいう

- ◎その後、国は令和元年12月に「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（令和元年改訂版）」及び、令和2年度を初年度とする5か年の第2期の「総合戦略」を閣議決定し、次期「地方版総合戦略」を策定するよう各地方公共団体に依頼しました。この依頼を受け、当町でも第2期川北町版総合戦略を令和2年3月に策定しました。

2. 総括・検証について

- ◎第1期川北町版総合戦略の推進期間が令和元年（2019年度）までであり、結果等を踏まえて検証したうえで、第2期川北町版総合戦略の推進に繋げていくことが重要であることから、**今回の会議において、第1期川北町版総合戦略を総括します。**
- ◎検証については、第2期総合戦略P4にも記載してあるとおり、進捗状況を踏まえ、外部有識者等を含む検証機関で毎年客観的に検証し、必要に応じて各種施策やKPIの見直し及び改訂を行うことにより総合戦略を更に進展させていくPDCAサイクルを機能させるものとしています。

PDCAサイクルとは

Plan-Do-Check-Action の略称

Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Action（改善）の4つの視点をプロセスの中に取り込むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法のこと。Plan・Doとして効果的な地方版総合戦略の策定・実施、Checkとして地方版総合戦略の成果の客観的な検証、Actionとして検証結果を踏まえた施策の見直しや地方版総合戦略の改訂を行うこと。

- ◎この検証会議において、提案されたご意見などは、全て職員で共有し、来る令和3年度予算に反映させるよう努めていきます。

3. 総括・検証シートについて

◎川北町版総合戦略で掲げた KPI と各種施策についての達成・進捗状況を役場内のヒアリングなどにより検証したものを記載してあります。(あくまで参考としてください。)

検証内容

・施策総括シート（第1期）

達成状況の選択肢 ①達成②概ね達成③未達成④未実施
選択肢の指標 目標の100%以上を達成⇒達成
目標の80%を達成⇒概ね達成
目標の80%に達しない⇒未達成
実施しなかった⇒未実施

・施策検証シート（第2期）

進捗状況の選択肢 ①良好②概ね良好③不良④未実施
選択肢の指標 目標の80%を達成⇒良好
目標の60%を達成⇒概ね良好
目標の50%に達しない⇒不良
実施していない、実施予定がない⇒未実施

※理由等には、結果に至った経緯や考察したことを記入しています

◎内容変更したものや新規の施策も含んでいます。

◎会議では、この検証シートをもとに簡単な説明をさせていただきます。

4. お願いしたい事

◎当方で、作成した総括・検証シートが全てではありませんので、総括・検証シートの中身についてのご意見や日常生活において感じていること、今後の町に必要なだと感じていることなどの率直なご意見を頂ければと考えております。未来の川北町のためにも忌憚のないご意見をお願い致します。

◎今回の会議では、第1期総合戦略の総括と第2期総合戦略の検証を行いますが、**第1期総合戦略の総括に重きを置きたい**と考えております。